

表2 震源決定地震数(2013年)

	箱根	足柄平野	丹沢山地	県東部	相模湾	伊豆	静岡東部	計
10月	13	10	18	3	2	6	0	52 (0)
11月	57	15	19 (1)	3 (1)	0	3	0	97 (2)
12月	18	10 (1)	25	5	0	2	0	60 (1)
1月	803	13	18	5	3	8	0	850 (0)
2月	1002	8	18	6 (1)	1	1	1	1037 (1)
累積数	1805	21	36	11 1	4	9	1	1887 (1)

注)累積数は1月からの値。括弧内は有感地震数

2. 資料

表1 県内で有感となった地震と各地の震度

表2 震源決定地震数

図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動

図2 表1に対応する地域区分 図3~6 地殻変動観測結果

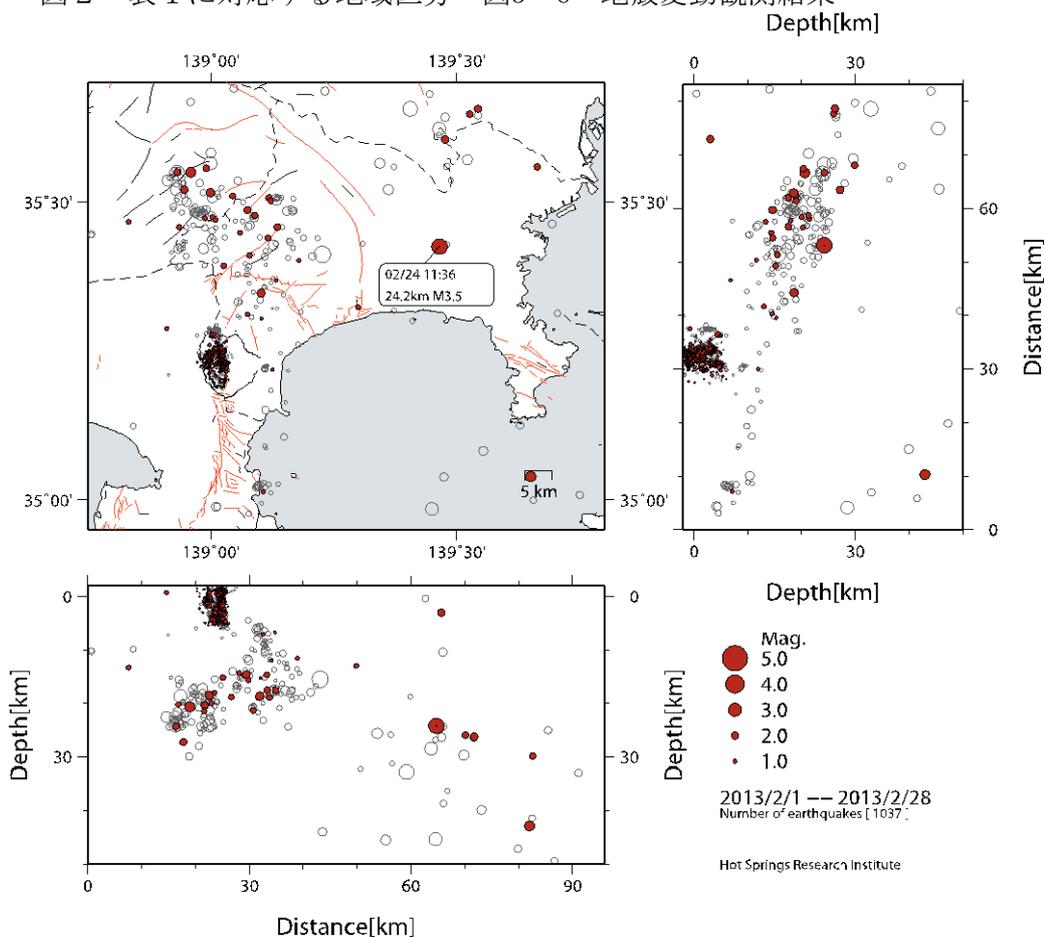


図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動

(震源決定は、当所データの他に東京大学地震研究所、防災科学技術研究所および気象庁の地震波形データを利用しています。なお、図中、白丸は過去6ヶ月の震源、赤丸は今月の震源を示す。)

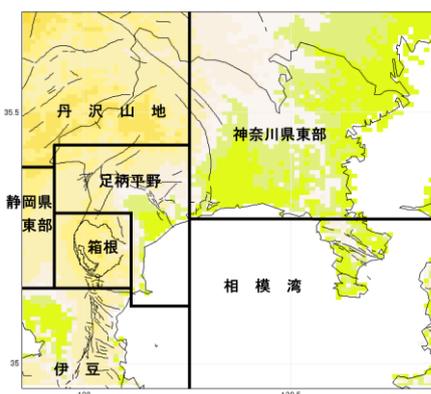


図2 表1に対応する地域区分 (深さは50kmまで)

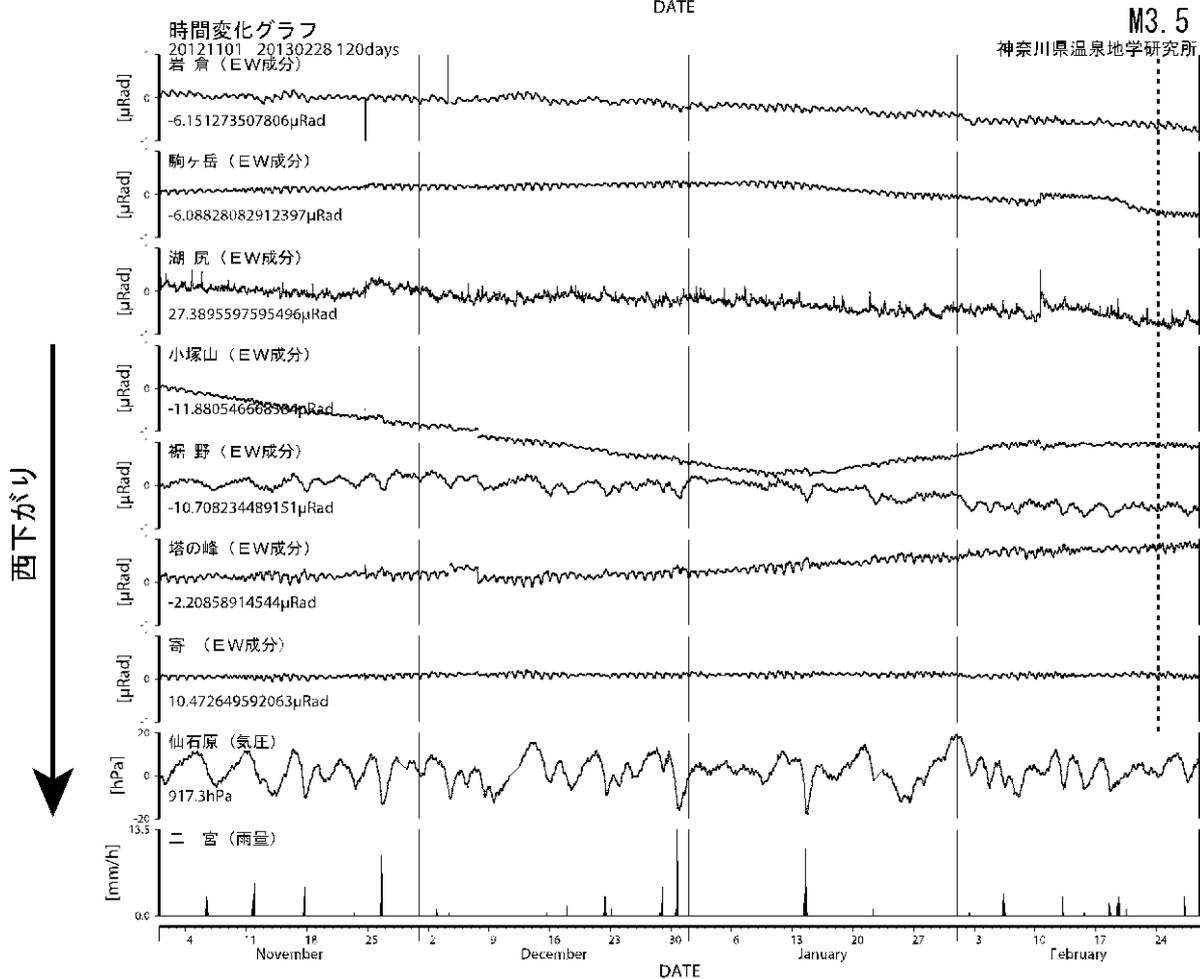
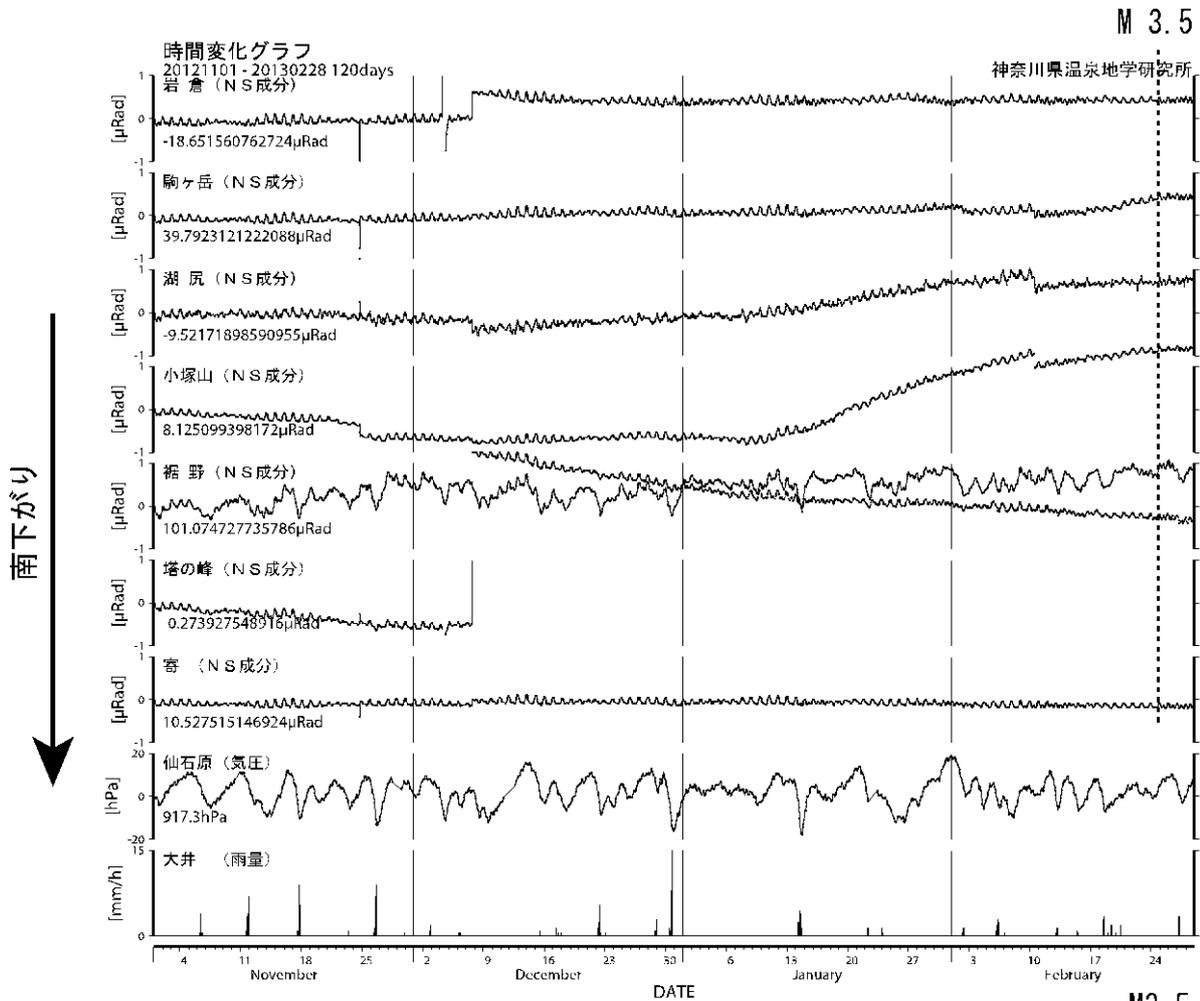


図3 傾斜計記録 (2012年11月1日から2013年2月28日) 上: 南北成分 下: 東西成分
最大地震 [1] 013年02月24日11時36分 深さ24.22 km M3.5 (神奈川県東部)

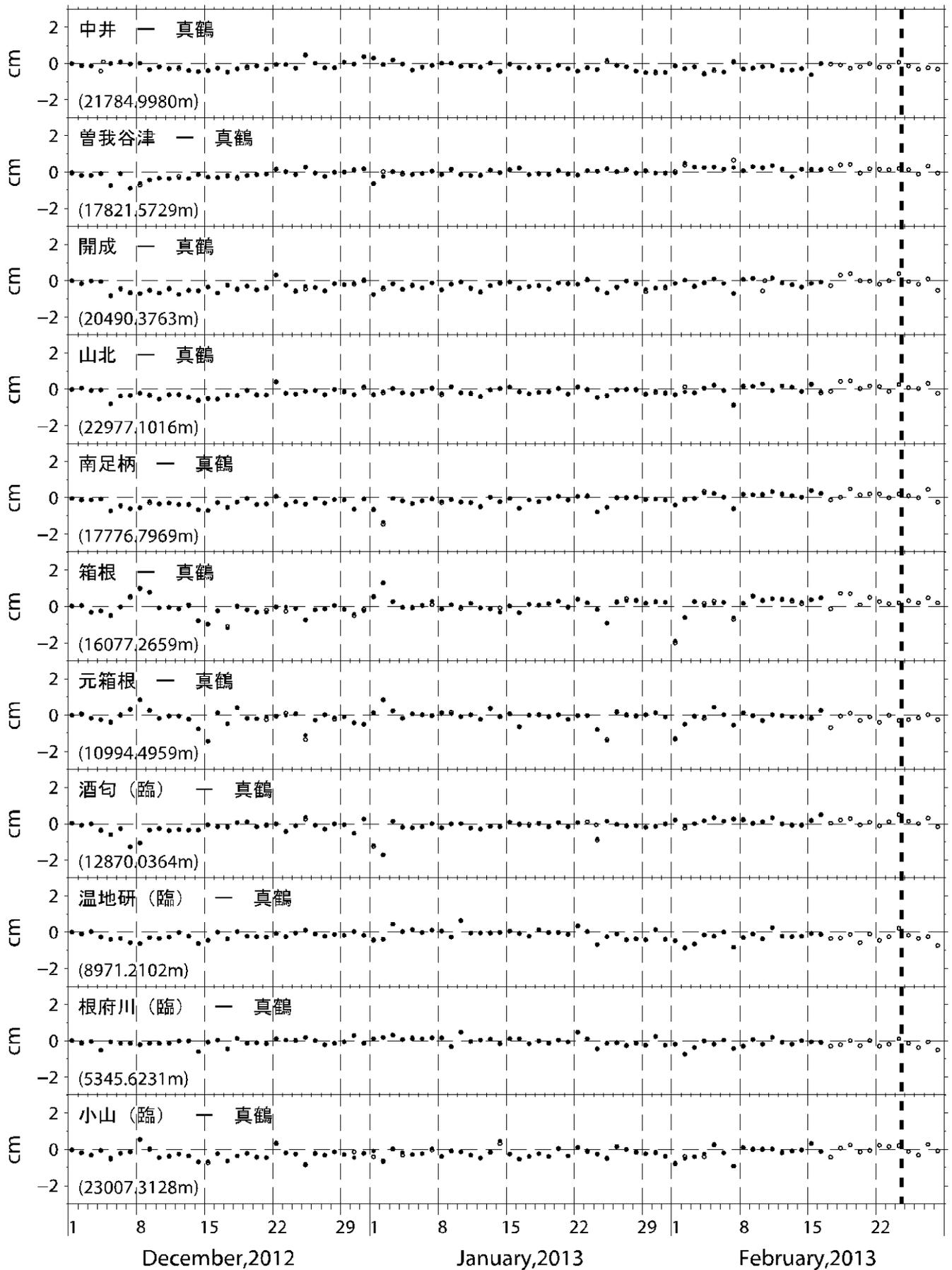


図4 GPS測量観測結果（2012年12月01日～2013年02月28日）

真鶴観測点を中心とした、各観測点の基線長変化。●は精密歴、○は放送歴による解を示す。小山観測点は、（独）防災科学技術研究所との共同研究による観測点である。

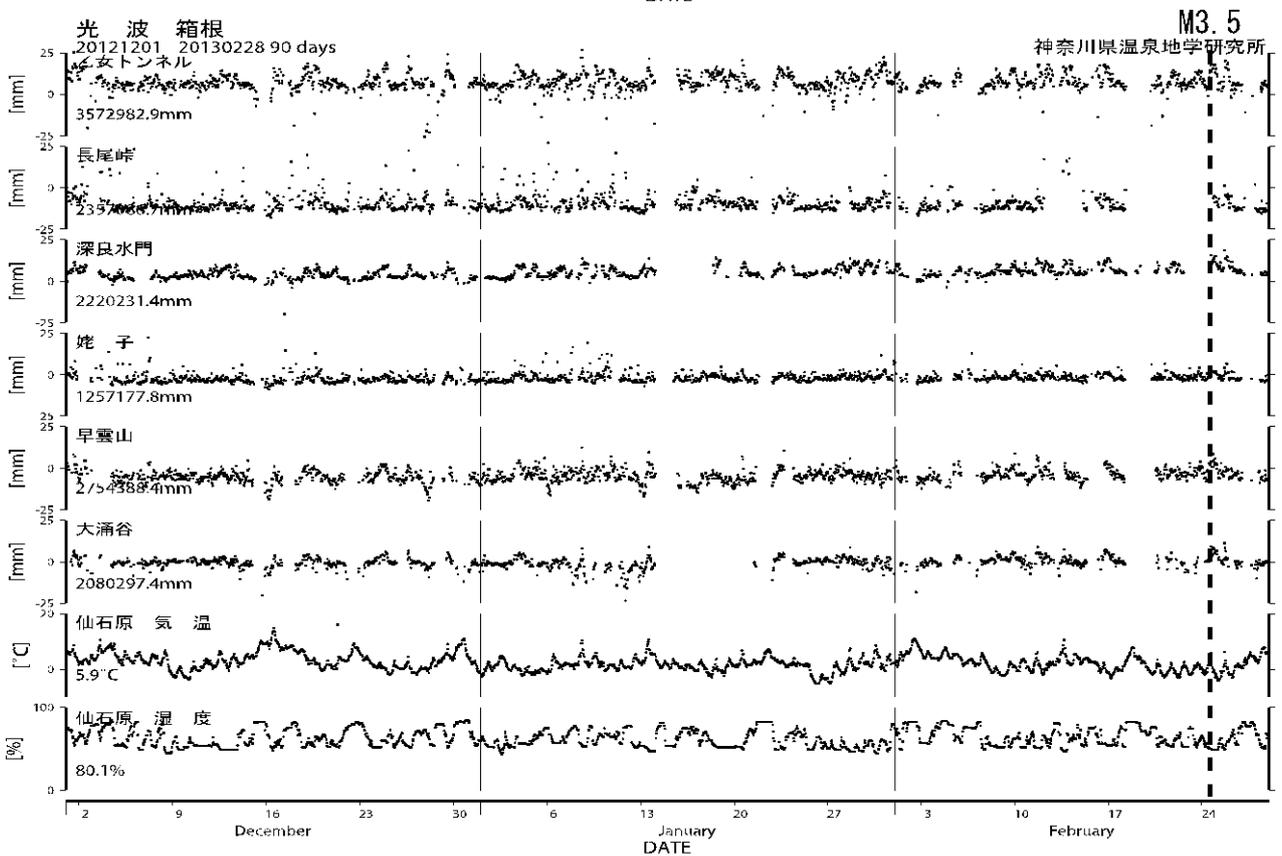
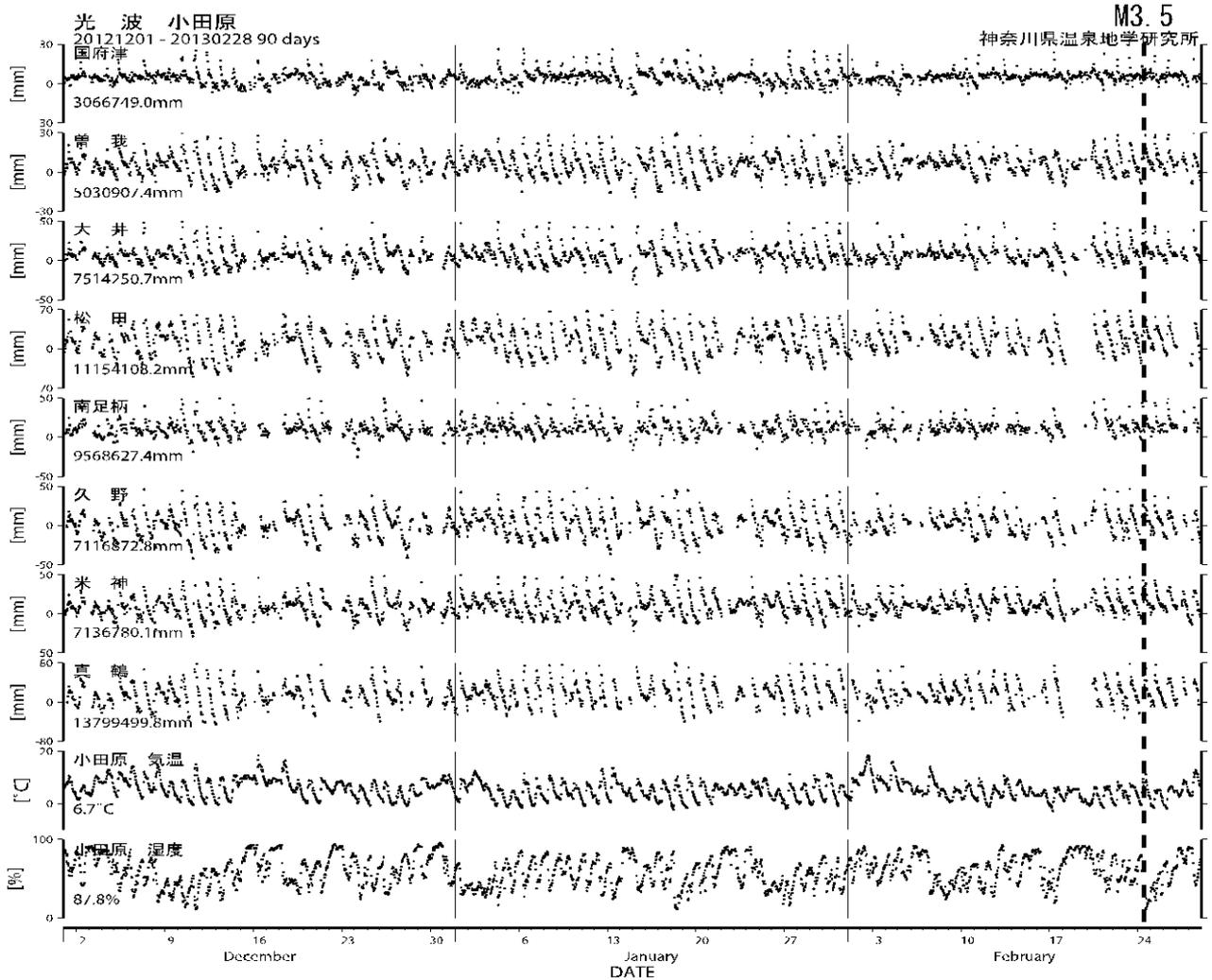


図5 光波測量観測結果 (2012年12月01日~2013年02月28日)

上：小田原観測網、下：箱根観測網

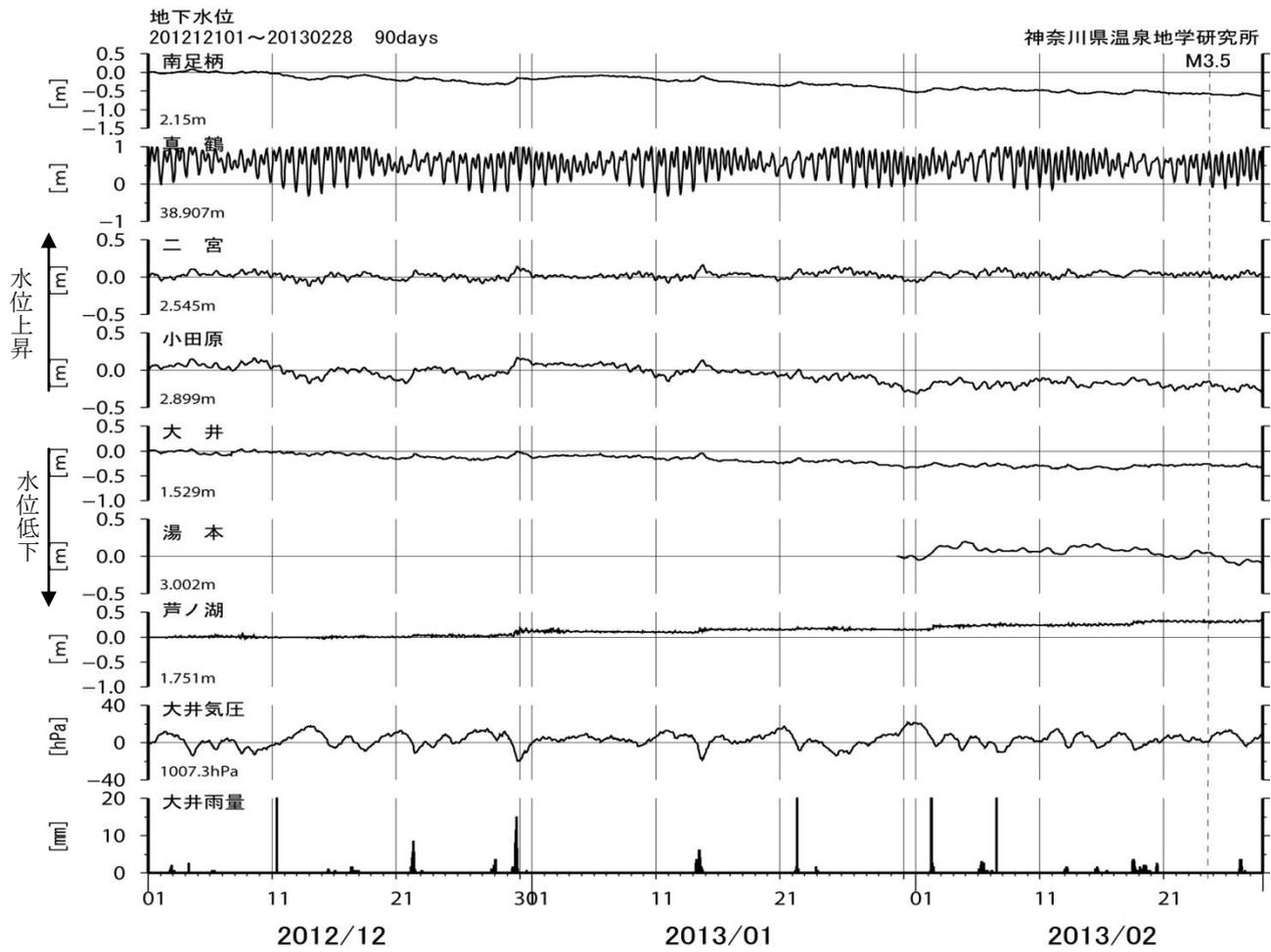
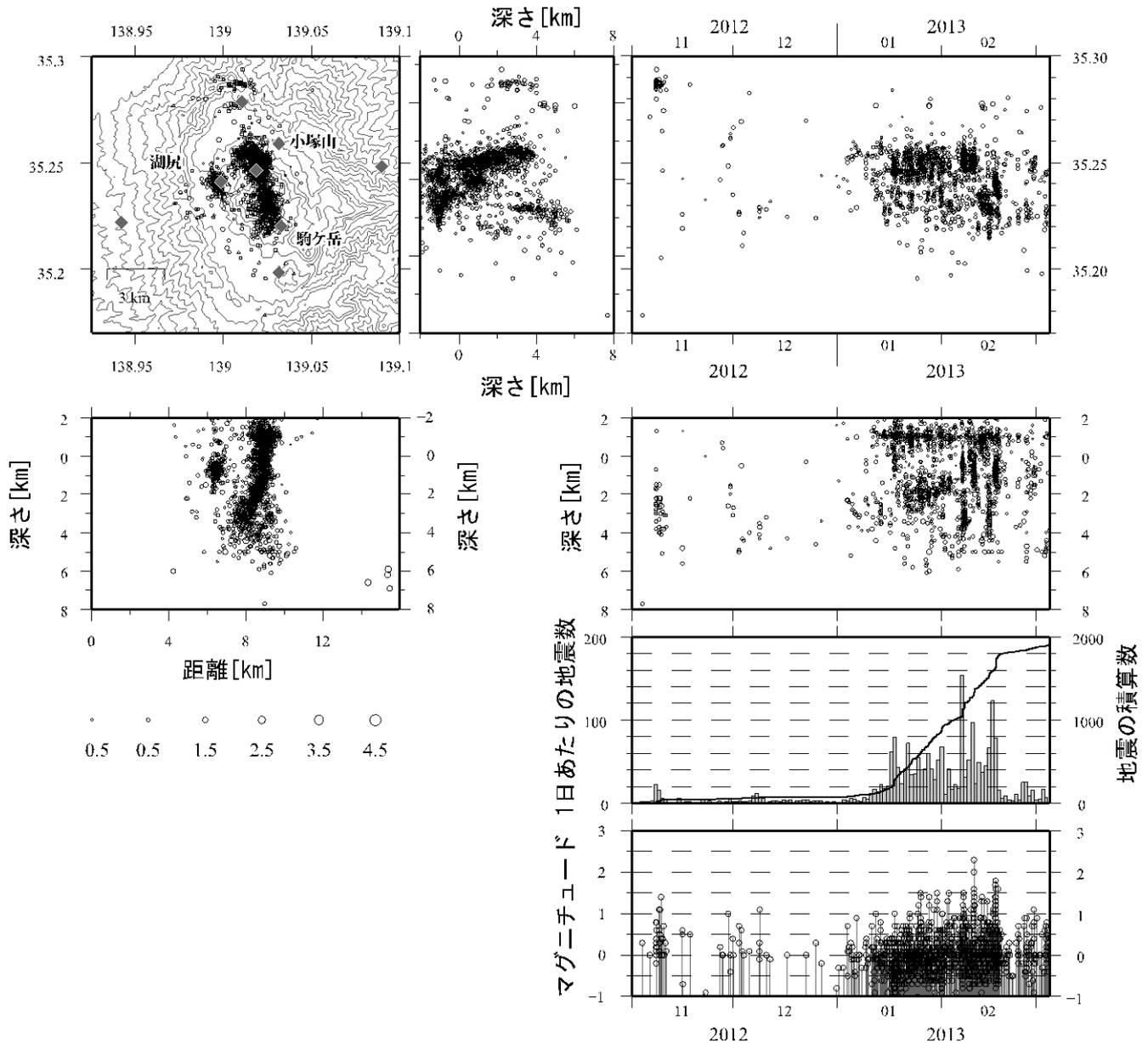


図6 地下水水位観測結果 (2012年12月~2013年2月)

2013年1月中旬からの箱根のやや活発な地震活動について

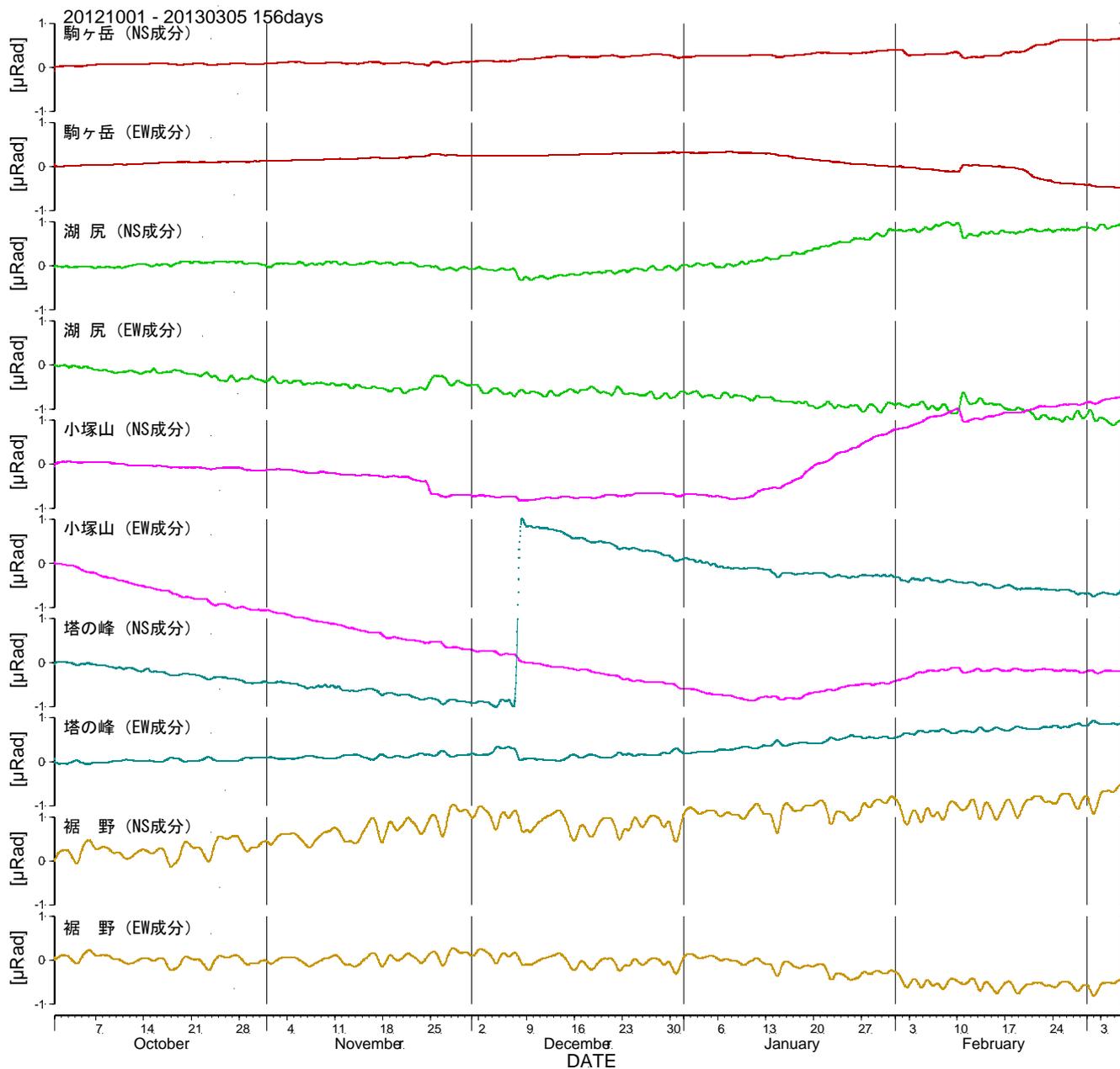


1月中旬より大涌谷周辺で火山性の地震が発生しており、テレビや新聞などでも報道されています。その後、1月上旬頃から続いていた山がわずかに膨張するような地殻変動は、2月中旬以降、収まりつつあり、それとともに地震活動も落ち着いてきています。

ただし、2001年に発生した地震活動の後には、活動が始まって数カ月経過したのちに、新しい地熱地帯が出現したことがあり、今後、同様の現象がみられる可能性があります。

今後も、神奈川県温泉地学研究所では、気象庁などと連携をとりながら、箱根山の火山活動を注意深く監視していきます。

箱根の傾斜変動グラフ（潮汐補正済み）



1月11日前後からみられる傾斜記録の変化は、2月の中旬から鈍化しているように見えます。